

7月における大豆の病害虫の発生状況は以下のとおりです。
巡回調査(20 地点)は、上旬(7月1～2日, 5～6日), 中旬(15～16 日, 19～21 日)に実施しました。

○ ベと病, わい化病, ウイルス病(わい化病を除く), 立枯性病害

・今回の巡回調査では発生は確認されませんでした。

○ ジャガイモヒゲナガアブラムシ

- ・7月上旬の巡回調査では、発生地点率は 10.5%、頭数は 0.5 頭でもに平年(発生地点率 18.3%、頭数 1.1 頭)よりやや低い状況でした。
- ・7月中旬の巡回調査では、発生地点率は 10.0%、頭数は 0.1 頭でいずれも平年(発生地点率 8.5%、頭数 0.5 頭)並の状況でした(図1)。

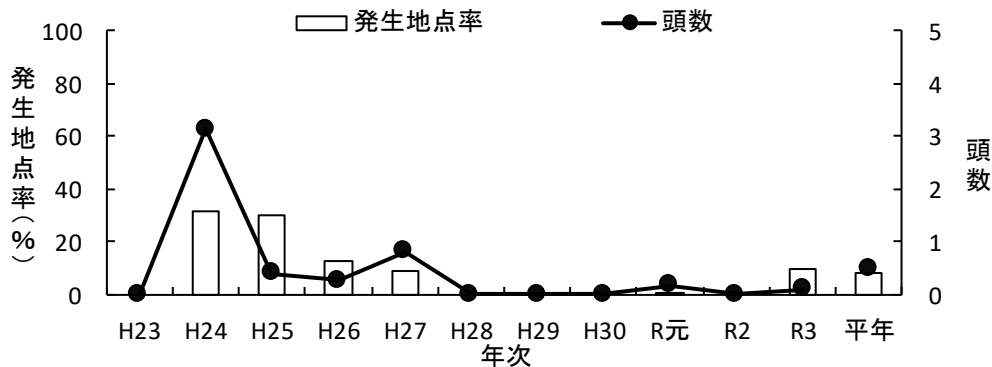


図1 ジャガイモヒゲナガアブラムシの発生地点率及び頭数の推移(7月中旬)

調査株数:25 株 平年:過去 10 か年平均

○ フタスジヒメハムシ

- ・7月上旬の巡回調査では発生は確認されませんでした。
- ・7月中旬の巡回調査では、発生地点率は 5.0%で平年(3.3%)並、頭数は 0.10 頭で平年(0.04 頭)よりやや多い状況でした。
(調査株数:25 株 平年:過去9か年平均 ※H24 より調査開始したため)

○ チョウ目食葉性害虫(幼虫)

- ・今回の巡回調査で幼虫が確認された主な種は、モンキチョウ, ミツモンキンウワバ, ツメクサガ, マメドクガでした。
- ・古川農業試験場に設置しているオオタバコガのフェロモントラップの誘殺数は、7月上旬から増加しています(図2)。

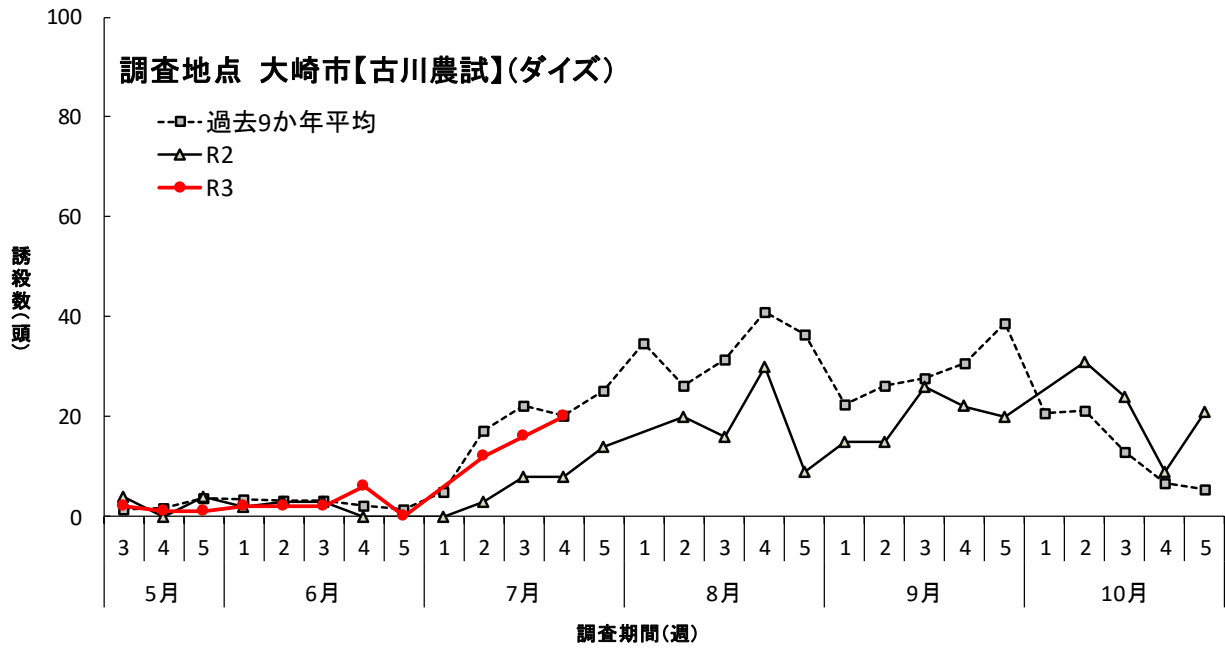


図2 オオタバコガ雄成虫の発生消長(大崎市 古川農業試験場)